

走り幅跳びのフォーム改善

【内容】授業の効率化

【使用アプリ】カメラ、ロイロノート

【事例紹介】

Chromebook の動画撮影機能を使い、走り幅跳びの学習で跳躍の自分のフォームチェックを行った。

始めに、走り幅跳びのポイント（①踏み切りのとき、腕をしっかり振り上げる。②目線は斜め上を見る。③着地は足をしっかり曲げる。）を児童に伝え、意識させながら練習させた。撮影は2人1組で交代しながら行った。児童は Chromebook の扱いに慣れており、撮影はスムーズに行うことができた。時間の都合でその場で確認することができなかつたため、確認は教室で行ったが、その都度確認することができれば、より改善点が分かりやすいと感じた。



【終わりに】

Chromebook の動画撮影機能を用いることにより自分のフォームを客観的に観察することができた。また、友達と良かった点や改善点を指摘し合うことで、自分の課題が分かったり、改善すべきポイントを再認識したりすることができた。

今後は自分がどのような工夫をしたか伝え合うことで学びの共有化を図り、伝え合う力の向上にもつなげていきたい。

☆教育委員会指導主事より☆

端末を使うことで自分を客観的に捉えることが容易にできるようになりました。その方法としては、今回の報告のようにビデオで撮影する方法や、タイムシフトカメラ (https://kaihatuinkai.jp/time_shift/) のような Web サービスを使う方法などが考えられます。タイムシフトカメラは中学校の先生が開発したサービスで、カメラの映像が遅れて再生されるというサービスです。大変便利なサービスですので、ぜひ一度ご覧ください。

様々な方法がありますので、まずは授業のねらいに迫るために、最も適切な学習活動はどのようなものなのかをじっくりと吟味し、使用する機材、サービスを選定してください。